



「春に想う」～足るを知る～

横浜中里学園 園長 井荻 献太

横浜中里学園は毎年、幼稚園から高校までの各学校を卒業し、新たな学校に入学することもお祝いする、「卒入を祝う会」を行っています。2022年度も3月21日（WBC準決勝で侍JAPANがメキシコ相手に劇的なサヨナラ勝ちをし、興奮冷めやらぬ中）に行い15名のこどもたちの新たな門出を祝いました。その中には、18歳になり、学園を退園していくこどもも5名含まれていました。卒園・卒業するこどもたちを代表し挨拶に立った高校3年生男子のスピーチに、私を含め、会場にいたすべての大人たちの胸が熱くなり、笑いあり涙ありのとても素敵な祝会となりました。このようにこどもたちの成長を皆で祝えるのも、日頃より活動いただいている地域のボランティアの方々、物心両面でご支援をいただいている皆様、学校・児相をはじめとする関係機関の教職員の皆様のご協力の賜物であり、あらためて感謝申し上げます。18歳で高校を無事卒業し、退園していくこどもたちだけでなく、それぞれのタイミングで学園を巣立っていくすべての若者たちに想うことは、心豊かに生きて欲しいということです。心豊かに生きるとは、「足るを知る（たるをしる）」ということだと思っています。京都竜安寺の「吾唯足知（われただたるをしる）」と書かれた蹲踞（つくばい）が有名ですが、足るを知るとは、「現在の自分の状況に満足し、目の前にある事に感謝する。」ということだと思っています。逆に心の貧しい人とは、何も持っていないことではなく、多くを持ちながら満足が出来ない人の事だと思っています。頼るべき大人の少ない退園生たちは、巣立っていった社会で必死に目標を見つめ、または、目標を見つけるために、もがきながら頑張っています。実はその姿勢そのものが貴く大切であり、そうしている自分を自分自身が認め、その状況を悲観せず受け入れることが出来る人になって欲しいと思っています。しかし、時には、その状況が辛く、くじけそうになる事もあるでしょう。そんな時に、いつでも羽を休めに來ることが出来る横浜中里学園でありたいと想いながら、この春分の日にこどもたち一人一人の顔を眺めていました。



協調性を身につける

新しい取り組み

第一回 NEXUS杯

横浜中里学園 V S 小学校先生



新たな試みとして、長い期間をかけて計画を練ってきた野球大会。今回、念願叶って実現することができました。記念すべき1戦目、横浜中里学園の歴史に残る対戦相手は、日頃お世話になっている小学校の先生たちです。その名も「第一回 NEXUS杯」(杉山職員命名)本格的な球場を借りての野球大会です。はじめてみる夜の球場「ナイター」は光が降り注ぎいつもと違う光景に職員も子どもたちもキラキラしていました。早速準備運動を行い、試合スタート!まずは小学生チームと先生チームに分かれ、試合開始です。両者、一步も引かない対決で、白熱した試合となりました。いつもとは違う雰囲気での交流ができ、とても楽しく終えることができました。小学生チームが終わった後は職員と先生との対決です!こちらもいつもとは違う雰囲気の中、真剣勝負の闘いをすることができました。第1回NEXUS杯の勝利を飾ったのは、横浜中里学園でした!!この結果に小学校先生チームは凄く悔しがってらっしゃいました。試合終了後すぐに次回の試合を申し込まれました。横浜中里学園の子どもたちは、チームワークの大切さを学び、勝つことの喜びも学べました。今後も、横浜中里学園主催の「NEXUS杯」が続くように試合を継続し、練習に励みたいと思います。先生方楽しい時間をありがとうございました。※NEXUSとは「繋がり」を意味します



「YNTTC」発足

横浜中里学園 卓球チーム



YNTTC コーチ
男子棟グループリーダー
黒紙 徳幸

横浜中里学園 卓球チーム「YNTTC」(横浜中里テニスチーム) ヘッドコーチ: 男子棟所属 黒紙 徳幸

昨年、神奈川県児童福祉施設卓球大会が開催され、横浜中里学園からは8名の選手が出場しました。結果は大接戦の試合もありましたが、一步及ばず惜しくも完敗となりました。けれど、この試合で経験したことが、後に子どもたち、職員の大きな活力となり、もっと上達して「勝ちたい!」と目標を持てるようになりました。そんな子どもたちの気持ちに答えようと立ち上がったのが、男子棟でグループリーダーを務める黒紙職員です。昨年の試合では、緊張して思うように試合ができず負けた事に悔しがる子どもたちを見て、自分ももっとできることがあるのではないかと、自然に「指導したい」と思い卓球チームを発足しました。現在、年少棟5人、女子棟6人、男子棟1人、合計12名で週1回の練習を行っています。今年の試合は練習の成果を出し切り、一人でも多くの子どもが満足した結果を出せるように応援したいと思っています。まだまだ始まったばかりです!これからの子どもたちの成長が楽しみです。



食物アレルギー研修

栄養士
講師

安部 拓馬 様

こども青少年局 こどもの権利擁護課

安部先生の講義はいつも新鮮に感じます。私たちの要望を伝えると、色々工夫して新しい情報を教えてくださいました。今回はアレルギーについて詳しくお話いただきました。自分で認識していた種類よりも様々な種類のアレルギーがある事を知りました。症状のある子が身近にいない分、普段から意識することが難しかったため、このように定期的に考え、学ぶ機会が必要だと改めて意識することができました。

措置児童等虐待防止研修

児童相談所
講師

陶山 寧子 様

横浜市中央児童相談所

テーマ：発達障害・愛着障害の理解～トラウマインフォームドな視点から
こどものレジリエンスを高める事が一番やらなくてはいけない支援だと感じました。が、先生が仰っていたように時間が足りない。18歳での自立が前提でのシステムのままでは何も変わらないと思いました。チームで声をかけながらこどもの支援をしていきたいと思いました。もっとお話を聞きたかったです。

プライバシーポリシー研修

児童相談所
講師

佐賀 豪 様

くれたけ法律事務所

今回は、プライバシーポリシーについてお話を聞かせていただきました。個人情報の扱いには十分気を付けているつもりではありましたが、正直曖昧な部分もあったため、今回のお話を聞き正直反省しました。漏洩よりも目的外の第三者提供が問題になる事を肝に銘じたいと思います。そして、個人情報の取り扱いにはさらに気を付け、開示請求されても堂々と外に出せるよう正確な記述に努めたいと思います。

地域に密着

地域との連携で子どもを守る



令和4年度地域ネットワーク会議

令和4年11月14日、地域ネットワーク会議を行いました。青葉区で児童の支援に携わる行政、警察、学校、町内会の方々と顔を合わせて情報交換ができる貴重な機会です。小山理事長、有馬常務にもお越しいただき、現状報告をいたしました。児童の数が年々増加する中で、職員の負担も増えてきており、児童1人1人の支援の難しさも課題になっています。今年度横浜中里学園では警察の方にご相談するケースが発生し、すぐに動いていただいたことで大事に至りませんでした。私たちにとって、とても心強く、今後も連携をとれる間柄であるように地域ネットワーク会議を続けていければと思います。



「ヒヤリ・ハットマップ」 by 女子棟

今年度、女子棟は「新しいこと始め隊」を結成しました。その活動の第一弾として、学園周辺の公園マップを小学生たちと一緒に作りました。きっかけは、こどもたちの「パンダのいないパン公行ってきます！」の声。もはや大人には何が何だか分かりません。夏休みに実際に公園を歩いて回り場所を確認。危険が潜んでいそうなところの写真を撮ってきて地図には解説も載せました。こどもの頭の中を覗いてみると、たくさんの楽しいことが詰まっていました！



みなさまからのきもち

横浜中里学園では、皆さまからのご寄附により充実した生活を送る事ができています。数ある施設の中から私たちの学園を見つけてくださり、心より感謝しております。これからもどうかご支援のほどよろしくお願いいたします。



今年の3月、横浜中里学園は華やかな装いとなりました。学園の近くでお花の生産を営まれている澤井様ご夫婦と、中学校の同級生で株式会社 Le Lien吉田啓介様より、みたこともない立派なお花を卒業生のために届けてくださいました。話せば長くなりますが、奥様はずっと横浜中里学園を気にかけてくださっていました。澤井様のご主人は何と！サッカー選手の澤井直人さん！サッカー好きのこども、職員も大喜び！今後も繋がりをもちたいとお申し出いただきました。とても嬉しい繋がりを感謝いたします。



フレンズの三上様（ドッグトレーナー）よりご寄附をいただきました。毎年横浜中里学園のために、募金箱を設置していただき、ドッグトレーナーの集まりなどでご寄附を募ってくださっています。長いお付き合いですが、少し離れてしまいます。寂しいですがこれからもどこかで繋がれることを楽しみにしています。ありがとうございました。



今年、卒業を迎える子どもの中で「袴を着たい」という女の子がいました。当初は諦めていたのですが、ホームページで袴を募集したところ、山本様からご連絡がありご寄附いただきました。卒業式には桜が間に合いませんでしたが、袴には見事な牡丹が綺麗に咲き誇っていました。ご協力本当にありがとうございました。



第一生命様より、今年も夏休みの思い出を題材に「ミニ作文コンクール」を開催いただきました。参加したこどもたちには、素敵なプレゼントも用意していただき、初めての「メダル」に大興奮するこどもも！作文には、思い思いの言葉が綴られており、職員も見入っていました。

ピアノボランティアとして来ていただいているソボレフ智子さん。女子棟1人、男子棟1人、2名を教えていただいています。それまでは我流で弾いていたこどもたちの音色が、先生の教えによりどんどん変化していきました。ソボレフさんの指導は、子どもが一番弾きやすい曲を弾かせて伸ばす。その結果、合唱コンクール・卒業式の伴奏にも選出されました！先生は、喜びを分かち合えたこと、選ばれたことで、大きな達成を感じる事が出来たとおっしゃって下さいました。本当にありがとうございました。





新しい遊び場

年少棟のこどもたちから「お砂場で遊びたい!」「お砂場いつできるの?」と、なかなか始動できなかったプロジェクト。ようやく皆さまからのご寄附・ご支援により、こどもたちの夢が一つ叶いました。念願のお砂場・芝生広場が完成しました!園長と職員手作りによる新しい遊び場です。



トラック到着
園庭まで横付けできず・・・



事務所総出で砂を運ぶも
重い・・・



疲れが見え始めたその時
高校生参上!!



ようやくお砂場完成



真っ白な砂を投入



枠ができた!



まずは掘る

お天気の良い日は、こどもたちが芝生に集まってきます。園長力作の手作りベンチも大人気です!



卒園・卒業 おめでとう

それぞれの道

幼稚園

小学校

中学校

高校

卒園式・卒業式



3月21日の春分の日、学園内の有馬ホールにて、毎年恒例の卒業入学を祝う会を行いました。ずっとお付き合いのある来賓の方々にもご参加頂き、ジブラルタ生命様からはこどもたちへ、お菓子の寄付も頂戴しました。柴田和美様には開所当時からこどもたち一人ずつに意見を聞き欲しい「本」をご寄附いただいています。ずっと一緒にこどもたちの成長を見守ってくださっており、皆様への感謝の念に堪えません。心よりお礼申し上げます。今年度は18歳で巣立っていく卒園生が5名、今回初めて卒園生の代表者に挨拶をお願いしました。施設開所から年を重ね、職員とこどもとの付き合いも長くなってきたなかで、年下の子たちへの心のこもったメッセージと職員への感謝の言葉に胸を打たれました。立派な挨拶でした。職員一同感動の一日となりました。最後は退園するこどもを全員でお見送りしました。

卒業と入学を祝う会

令和4年度 横浜中里学園





神奈川県横浜市をホームタウンとする、ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ (B.LEAGUE) 横浜ビーコルセアーズの試合にご招待いただきました。初めてバスケットボールの試合を観戦することも多く、出発前から大盛り上がり！ビーコルセアーズ専用のバスで学園まで迎えに来ていただき、さらに大盛り上がり。キッチンカーで昼食すませた後は待ちに待った試合観戦です。試合開始前から会場の熱気がすごく、こども達も負けじと観戦グッズで応援していました。試合の合間には「プレゼント企画」があり、観客席に向かってバズーカでプレゼントを受け取る時間があり、気合十分で臨みましたが惜しくも頭上を通過し、こどもたちはがっかり…「次は必ず取る！」とすでに次の試合も行く気満々でした。こどもたちは終始大満足で、またこのような機会がありましたら是非応援に行きたいです。関係者の皆さま、快く試合後に記念撮影をしてくれた選手の皆さま、この度はご招待いただき本当にありがとうございました。記念に残る日となりました。

JALチャーターフライト



神奈川新聞厚生文化事業団の招待で「JALチャーターフライトで楽しむ日帰り空中散歩」に参加させていただきました。決められた飛行ルートを空中散歩するという内容でした。こども達は、既に何回か飛行機に乗った事がある子もいれば、初めて飛行機に乗るとい子もいて、とても楽しく、空中散歩をすることが出来ました。空港到着後、空港内を散策したり、荷物検査をしたりと、初めての経験が多く、とても楽しそうにしていました！空港に行くこと自体が初めての子は、目をキラキラさせながら散策し、目の前の飛行機の迫力には圧倒されていました。出発時刻が近づき、ついに、飛行機に搭乗します！離陸する際には、今まで体験した事のないスピードや揺れから、思わず驚きを声に出すこどももいました！空から見る富士山や、雲の上を飛行機で飛ぶことや、機内食、離陸から約3時間、とても楽しく、空中散歩をすることが出来ました。飛行機に乗る機会があっても、空中散歩をする機会は、今後は無いかと思うと、すごくいい経験が出来、招待いただいたことをとてもうれしく思います。ありがとうございました。

地域に密着



児童家庭支援センターみたけ



職員間で、みたけの相談室を居心地の良い空間にしたいと話していました。そこで、以前 I K E A さんから寄付で頂いた壁面用のウッドパネルに、センター長が D I Y で棚を作り、おしゃれなウッドシェルフに。そこに貸出している本を並べました。子育て中に悩みはつきもの。悩んでいてもそのために「本を選んで、購入し、読む」という時間を作るのは、なかなか大変です。そこで少しでも手間を省くべく、今まさに子育て奮闘中の職員が、読みやすさを重視して本を選びました。どんな本をお勧めしているのかぜひ見に来てください。そして時間が許せばソファ（これも I K E A さんからの寄付）に座って、ゆっくりと読んでみてくださいね。



寄付・ボランティアの方へのお礼

いつも子どもたちのために、たくさんの寄付やボランティアを行っていただき、誠にありがとうございます。いただいた物、作っていただいた物、教えていただいたこと、全て大切にさせていただきます。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

寄付・寄贈（順不同）

一般社団法人 日本ゴルフツアー機構
会長 青木 功 様
一般社団法人 日本女子プロゴルフ協会
会長 小林 浩美 様
公益財団法人 日本プロゴルフ協会
会長 吉村 金八 様
公益社団法人 日本プロゴルフ協会
PGAツアー競技部 角原 聡 様
公益財団法人 神奈川新聞
厚生文化事業団 様
応援事業事務局 様
神奈川県養豚協会 様
上谷本地区社会福祉協議会
杉浦 一夫 様
大正堂印房 様
フレンズ 三上 明美 様
日本体育大学 体育学部 健康学科長
教授 横山 順一 様
MDRT 日本会事務局 様
日本基督教団 向河原協会 様
ビーコルセアーズ 様
DOMINO'S PIZZA 青葉台店 様
アン・プチ・パケ 様
市ヶ尾ぼんじ里友志会 様
フィリップモリスジャパン合同会社 様
ほっともっと 様
毎日新聞東京社会事業団 様
全国シャンメリー協同組合 様

(株)Criacao 澤井 直人 様
(株)Le Lien 吉田 啓介 様
(株)SL Creations 広報室 秋山里実 様
(株)アステップ 様
(株)小俣組 様
(株)日本教文社 様
(株)フレーベル館 様
(株)Daska&Desiree 様
(株)PIMパートナーズ 様
(株)横浜銀行 様
(株)ファーストリテイリング サステナビリティ部
代表取締役社長 吉川 隆樹 様
(株)ジャストオートシーリング
代表取締役社長 小林 秀清 様
ジブラルタ生命保険(株) 様
クレイン不動産流通(株) 様
広洋産業(株)
取締役統括本部長 森川 正康 様
第一生命保険(株) 様
神奈川トヨタ自動車(株) 様
たいまつ食品(株) 様
MCMのめぐみ(株) 様
日本鏡餅組合 様
太田屋精肉店 様
こどもの杜 様
ナザレ幼稚園 様
市ヶ尾ぼんじ里友志会 様

(有) 花園 澤井 レナ 様
(有) 芝原建設 様
(有) ナカムラ青果 様
クレイツばさ 様
佐藤 澄夫 様
紺野 正智 様
山本 肇 様
日野 翼 様
東谷 境 様
濱 哲平 様
工藤 久子 様
山崎 哲也 様
鈴木 昭博 様
徳橋 三郎 様
岩浪 敏之 様
岩本 光弘 様
窪田 道子 様
梅川 謙一 様
笠井 佳子 様
田中 ゆり 様
稲葉 晴香 様
杉山 美智子 様
馬川 佐和子 様
山梨 由利子 様
光永 美由紀 様
岸本 千穂子 様

ボランティア・支援者の皆様

ナチュラルレ・ポーノ 様
もえぎの学習支援サポーター 様
中山 芳子 様
鈴木 てい子 様

伊藤 昌子 様
檜垣 萌美 様
柴田 和美 様
笠井 佳子 様

畠山 純子 様
根崎 耕一 様
根崎 ちづる 様
ソボレフ 智子 様
土屋 美加 様
天沼 将宏 様
上村 綾子 様

